

アジア欧州会合(ASEM)第4回外相会合

議長声明

(2002年6月6－7日、マドリード)

(外務省仮訳)

1. アジア欧州会合第4回外相会合(ASEM FMM IV)は2002年6月6－7日にスペインのマドリードにおいて開催された。この会合には、アジア10か国、欧州15か国の外相及び欧州委員会対外関係担当委員が参加した。会合では、欧州連合理事会議長でもあるスペインのジョゼップ・ピケ外相が議長を務め、ソラナ欧州連合共通外交・安全保障政策上級代表が同席した。
2. 外相は、アジア欧州協力の枠組みにおいて示されている、ASEM 首脳会合により定められた原則に従い、様々な共通の関心事項について包括的かつ有益な議論を行った。
3. 外相は、ランサローテ(2002年4月2－3日)及びマドリード(2002年6月5－6日)の高級実務者会合後に提出された以下の提言を承認した。
 - － ASEM 作業方法改善のためのガイドライン(本議長声明に添付)
 - － フィリピンより ASEM 情報ボードの骨格が提示され、外相は、第一段階として ASEM 関連のすべてのウェブサイトをリンクすることに合意した。ASEM 参加国が双方向かつ部内用に通信システムを利用できるようにする第2段階については、現在検討されている。
 - － 外相は、アジアと欧州の合同チームのためのアジア欧州財団(ASEF)が組織する ASEM 全域での公募により、ASEM の共通ロゴを次回の外相会合に間に合うよう作成することに合意した。
 - － 外相は、2003年までに ASEF の基金を補充するとのコミットメントを再確認するとともに、長期的な財政安定策を立案することを目的とした「財政維持に関する ASEF 理事作業部会」の設立を歓迎した。外相は、コペンハーゲンで開催される次回首脳会合(ASEM4)の議長声明において、参加国に対し ASEM5 までに ASEF の長期的

な財政維持を確保するための必要措置を採択するよう強く求めるべきであると提案した。

4. 外相は、2001年5月24－25日に開催された前回の外相会合(FMM III)以降に開催された閣僚会合、すなわち経済閣僚会合(2001年9月10－11日、ハノイ)、環境大臣会合(2002年1月17－18日、北京)、ASEM 移民管理大臣会合(2002年4月4－5日、ランサローテ)の議長声明に留意した(本議長声明に添付)。外相は、これらの会合は ASEM において様々な活動が活発に行われていることを示すものである旨留意した。
5. 外相は、両地域において地域的および地球規模で環境問題について協力の可能性は非常に大きいとの ASEM 環境大臣会合の見解を再確認した。この点に照らし、外相は、アジア欧州環境技術センター(AEETC)の2002年10月で終了するパイロット・フェーズ中の貢献に感謝をもって留意し、その業績はこの分野における将来の ASEM の協力にとって貴重な貢献である旨合意した。外相は、特に、環境問題への一般の参加の促進や大都市問題についてAEETCが果たした貴重な活動に特別の認識を示した。この点に関し、外相は、専門家会合を経て2003年にイタリアで開催される次回の環境大臣会合に期待した。
6. 移民管理協力に関するランサローテ宣言を踏まえて、外相は移民に関するフォローアップ活動について議論し、この問題に関する効果的な協力体制を構築することの重要性を強調した。この点に関し、外相は、2002年にデンマークにより組織され、中国とスペインが共同提案する移民問題担当の局長間の会合を承認した。移民問題に関するコンタクト・ポイントのネットワークが事前に整備されれば、この会合や更に将来の会合の準備が促進されることとなる。
7. 外相は、参加国から提案されたイニシアティブについて意見交換し、以下の提案を承認した。これらの提案は、首脳会合のための主要な ASEM イニシアティブとして検討される。

－中国、スペイン、日本、デンマーク及びドイツの共同提案によるテロ対策に関する ASEM セミナー

－ドイツ、スペイン、アイルランド及び中国の共同提案による雇用と労働の質の将来に関する ASEM ワークショップ

－中国、デンマーク、フランス、シンガポール及びマレーシアの共同提案による文化と文明に関する ASEM 会議

外相は、以下の活動に留意した。これらの活動は、アジア欧州協力の枠組みの文脈の中で更に発展させられる。

－飢餓撲滅、貧困根絶、繁栄のための ASEM 観光協力の促進

－銀行セクターの研修と技術支援における ASEM 協力

－ASEM における財政政策の立案及び実施に関する経験の交換促進

－グローバリゼーションの文脈における市場システムの構築に関する ASEM 対話

－情報通信技術パフォーマンス・レファレンス・フォーラム

－ASEM e 教育ハブ

－薬物問題に関する若者の意識向上におけるアジア欧州協力

外相は、日本のイニシアティブであり、スペインを共同提案国とする「激変する世界経済と ASEM に関するセミナー」の成果を評価した。外相は、韓国によって配布された DUO / ASEM フェローシップ・プログラムに関する最新の進捗状況報告書に感謝をもって留意し、同プログラムへの参加国の積極的参加を促した。外相は、また、中国、フランス及びポルトガルが共同提案する水資源管理に関する ASEM セミナーを正式な ASEM イニシアティブとして承認した。

8. 外相は以下の共通の関心事項について意見交換した。

－グローバリゼーションと 9 月 11 日以降の経済政策

－新たな国際安全保障情勢： 外相は、麻薬の密輸、人の密輸、マネーロンダリング、武器の密輸といった他の国境を越える犯罪と関連のある国際テロとの闘いにおける国連の指導的役割及び国際協力の重要性を強調した。外相は、国際社会が、法のルールを尊重しつつ、テロに対する政治的、経済的、文化的方策を含む包括的な戦略を策定すべきであるとの見解を表明した。

外相は、アジアと欧州が国際的なテロに対する闘いのための協力枠組みを進展させる必要性を強調した。外相は、双方が具体的なイニシアティブに着手すべき旨合意した。この関連で、外相は、テロや国際組織犯罪対策に特に注目して情報交換や協力を促進するために、**EUROPOL**、**ASEANAPOL** と中国、日本、韓国の法執行機関との連携が設定されるべきとのシンガポール提案を概ね支持した。外相は、また、**A S E M**参加国のテロ対策調整機関の間の適当な情報交換の促進の要請を支持した。外相は、**A S E M** 4以降に開催される中国、ドイツ、スペイン、デンマーク及び日本の提案する**A S E M**テロ対策セミナー(中国開催)がこれらの提案を検討することに合意した。

外相は、テロ対策における欧州安全保障協力機構の議長国であるポルトガルの優先事項について留意した。

－移民、持続可能な開発、文化交流などの国境を越える問題

－朝鮮半島、アフガニスタン、中東、インド・パキスタン情勢等の地域問題

9. 外相は、本議長声明に添付されているインド・パキスタン情勢及び中東に関する政治宣言に合意した。フィリピン代表団はテロに関連する特定国の言及に関し懸念を表明した。

外相は、ビルマ／ミャンマーにおける最近の前向きな動き、特にアウン・サン・スー・チー女史の解放を歓迎し、国民和解へのさらに前向きかつ具体的な進展に対する期待を表明した。

外相は、10年前のローマ・プロセスにより開始し、ボン合意で定められた手順に従ったカブールにおける6月10日からの緊急ロヤジェルガの開始を歓迎した。これは、国際社会により支持され、今後も支持されていくアフガニスタンにおける政治的復興に向けた根本的な前進を示すものである。また、外相は、カルザイ・アフガニスタン暫定行政機構議長及びブラヒミ国連事務総長特使の指導的役割及び一般的平和のプロセスの実施に向けた強いコミットメントを評価した。

外相は、東チモール独立の重要性を認識した。

10. 外相は、2002年9月22－24日にコペンハーゲンで開かれる **ASEM4** について議論した。外相は、更なる準備の基礎となる欧州案コンセプト・ペーパーを歓迎した。

外相は、首脳が **ASEM4** で朝鮮半島に関する宣言を発出するよう提案することに合意し、高級実務者会合 (**SOM**) レベルで議論された宣言の一次草案に留意した。

11. 外相は、**ASEM** への新規参加問題を再び取り上げ、欧州とアジアの様々な国、特に **ASEAN** メンバーのカンボディア、ラオス、ミャンマーが表明している参加への関心を歓迎し、首脳に対し、アジア欧州協力枠組み 2000 (**AECF2000**) に従い、**ASEM** プロセスを強化するため、2004年にハノイで開かれる第5回首脳会合で参加国の拡大問題を取り上げるよう提案することに合意した。

12. 外相は、**ASEM** 第5回外相会合を2003年にアジアの国で開催することに合意した。

2002年6月7日、マドリード